

パワーポイントベースのオンデマンド教材の作成

目次

- A. 先生の音声を入れて自動的にスライドを進ませる
- B. ポインター表示の動きを加えた動画の記録
- C. 先生の音声の代わりに合成音声を用いる方法

C. 先生の音声の代わりに合成音声を用いる

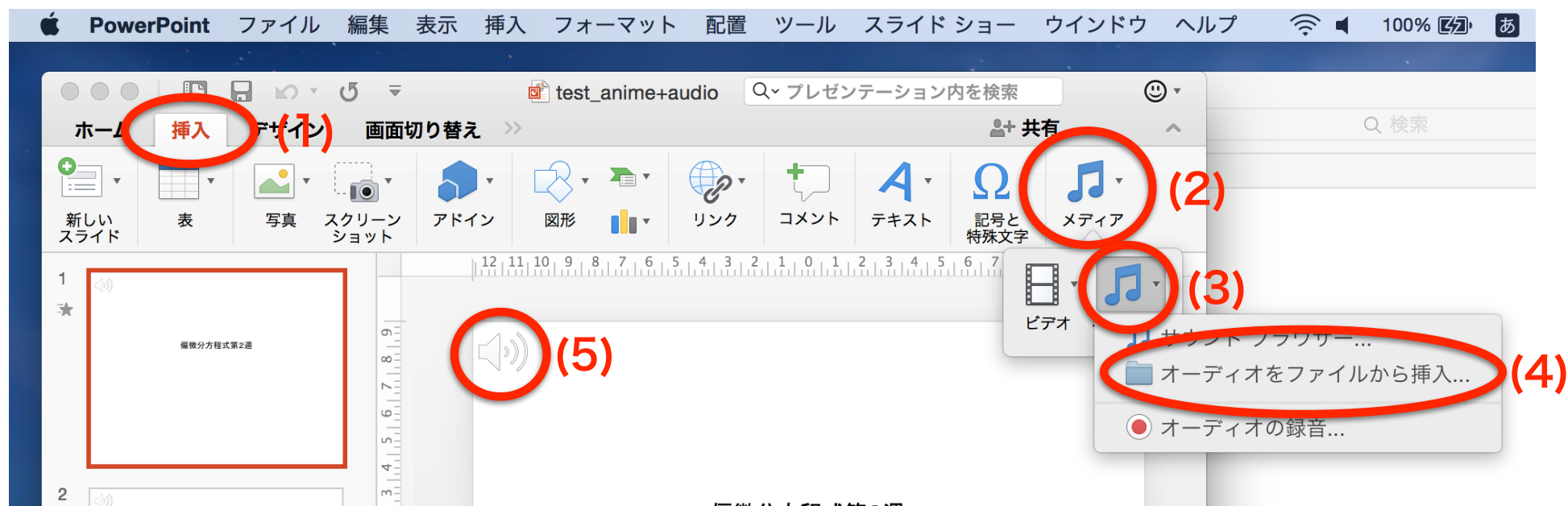
しゃべるのが苦手で原稿を書くほうが楽な方は試してください.

C-1 : PPTの各ページごとの原稿を書いたテキストファイルを作成する.

C-2 : テキストファイルを読み上げた音声ファイルを作成する.

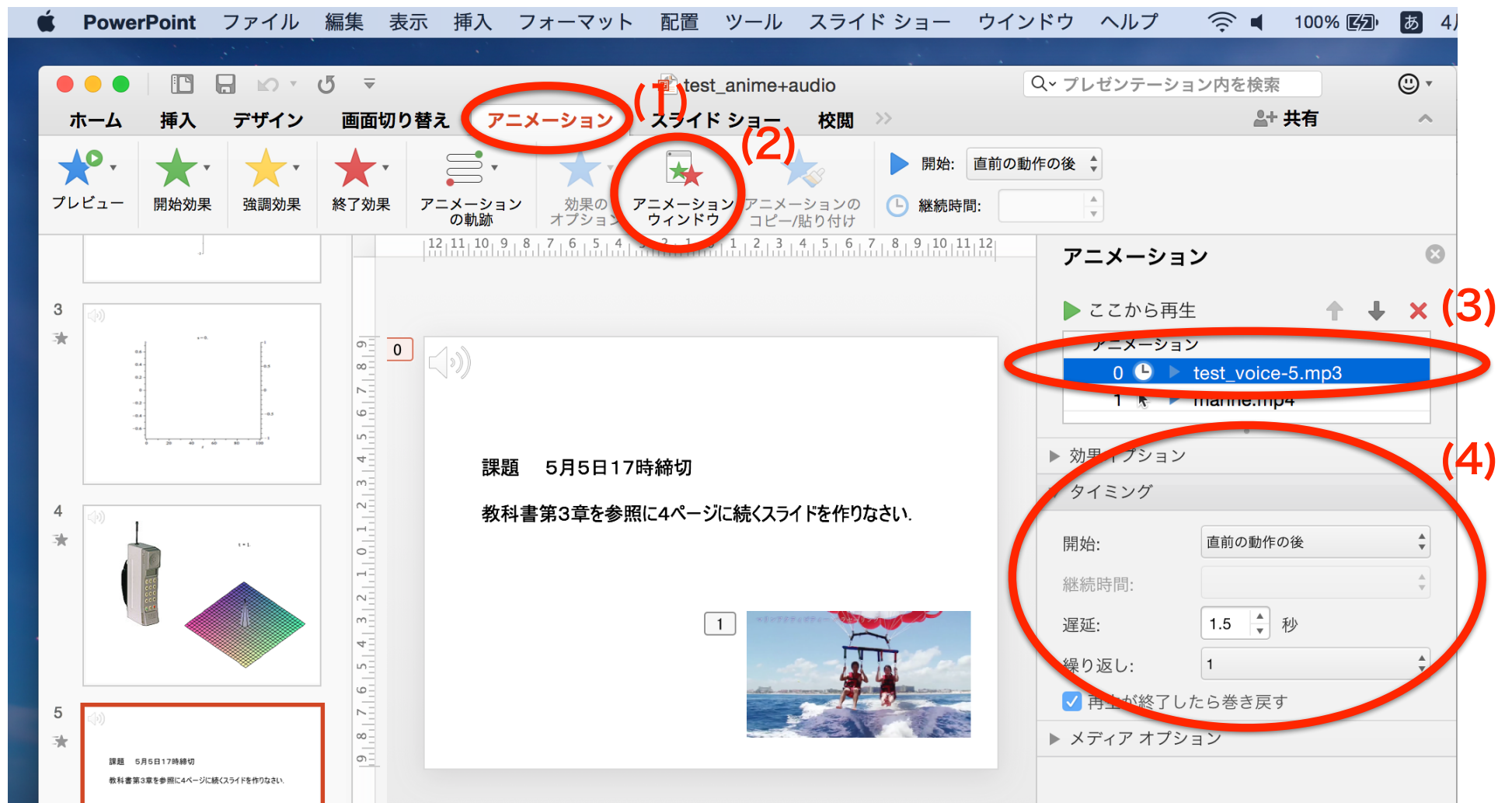
様々なテキスト／音声ファイル変換ソフトが入手できますが
本資料の付録として, Mac に搭載されているアプリケーションを用いて
テキスト／音声ファイル変換を行う手順を示した資料も参考にしてください.

C-3 : PPTの (1)[挿入] (2)[メディア] (3) [オーディオ]をクリックし,
(4) 音声ファイルが置かれたフォルダを指定して音声ファイルを選択し,
スライド上に挿入する(リンクではない)と (5) スピーカーが現れる.

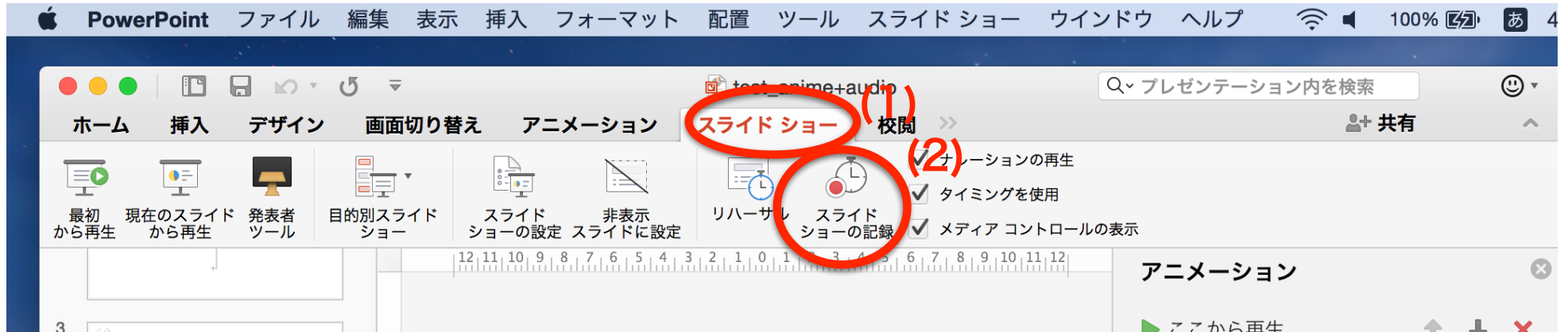


C-4 : (1) [アニメーション] (2) [アニメーションウィンドウ] をクリックし,
(3) 音声ファイルを選択し, (4) 発声タイミングを決める.

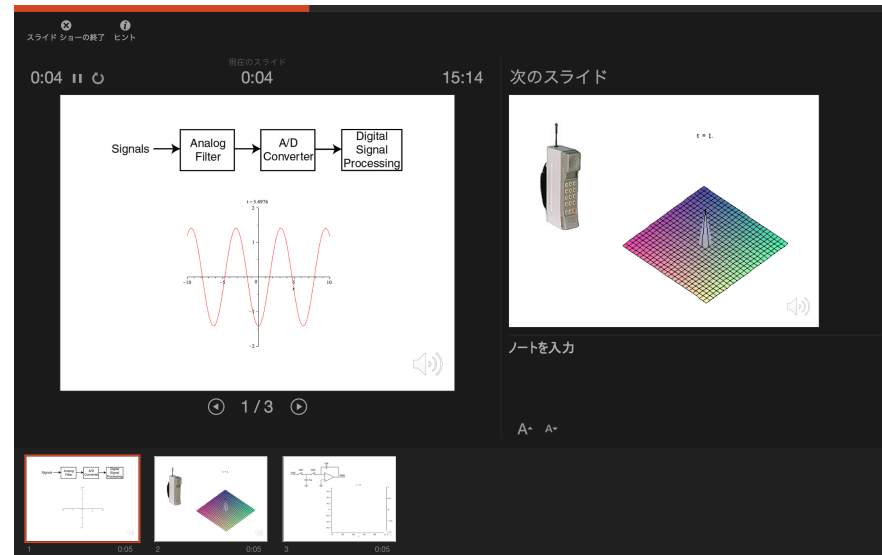
C-5 : C-3, C-4の操作により, 他のスライドにも同様に音声ファイルを埋め込む.



C-6: (1) [スライドショー] (2)[スライドショーの記録] を選択し、プレゼンを開始する。



C-7： 音声を聞きながら，スライドを2ページ目， 3 ページ目， . . . と進めていく.



C-8： 最後のページまで話し， 終了すると，
「. . . 今回のタイミングを保存しますか？」が現れるので， 「はい(Y)」 をクリック.
以上で教材のできあがり.

